

※この計画での地球市民とは、
心に国境を持たない市民のことをいいます。

飯田市には2,000人以上の外国出身の方が住んでいます。

リニア中央新幹線の開通が近づく中、

「小さな世界都市」にふさわしい地域になるために、

外国人住民のみなさんが持つ、国籍や民族、文化や習慣の違いを

「豊かさ」として活かし、すべての人が互いに認め合い、

人権が尊重され、自立した市民として共に暮らすことができる

「多文化共生社会」の実現を目指します。

外国人住民のみなさんとともに 小さな世界都市を目指して

飯田市の多文化共生施策 これまでとこれから

1970
年代

1980
年代

1990
年代

2000
年代

満蒙開拓団に参加した方の帰国が始まり、
中国帰国者と呼ばれた方の定住がはじまりました。

フランスのシャルルヴィル・メジエール市との人形劇を通じた
友好都市提携をきっかけに、飯田国際交流推進協会ができて、
地域の国際交流活動が活発になっていきました。

市内の外国人住民が増加し始め、
2003年にはピーク(3,243人)に達しました。

リニア時代を迎え、多文化共生社会実現に
向けて取組をさらに進める時代です

小さな世界都市に向けて

少子高齢化など、様々な課題のある地方都市では、大都市と違って、あらゆる分野で国際化を進めていくことはできません。しかし、市田柿に代表される農産物、精密機械工業の技術や人形劇の文化などは、国内にとどまらず国際的にも評価されるグローバルな価値として認められています。このような地域固有の価値を活かすことで、飯田市が世界とつながることができ、「小さな世界都市」としても発展していくことにつながります。そのためは、飯田市が国籍に関わらず、誰もが地球市民として共に生きていく多文化共生社会となっていくことが必要です。

多文化共生とは、

国籍や民族などの異なる人々が、
互いの文化的ちがいを認め合い、
対等な関係を築こうとしながら、

地域社会の構成員として

共に生きていくこと

2006年3月 総務省
多文化共生の推進に関する研究会報告書より



いいだ人形劇フェスタ
マスコットキャラクター ぼお

多様性を活かし 共につくる 小さな世界都市

～国籍や文化等の多様性を認め合い、外国人住民と共生する地域づくり～

社会的・文化的な違いを当然のこととして受け入れ、
日本人住民も外国人住民も
地球市民として共に生きていく時代。だから、
お互いが理解し合い、尊重し合うことが大切です。

大切なこと
- 多様性 -

大切なこと
- 協働 -

多文化共生社会は市民や事業者の皆さん、
そして行政が協働して
地域ぐるみで取り組まなければ実現できません。

定住生活の支援 外国人住民の日常的生活を支援し、飯田に長く住みつづけたいと思える地域を目指します。

日常的生活支援やコミュニケーション支援、
災害時の支援の際に、
「やさしい日本語」を活用し、
わかりやすい
情報発信をします。



外国人住民のみなさんが多く住む地区で、
国際交流や国際理解のための事業を通じて、
多文化共生社会推進
モデルをつくり、
全市に広がっていきます。



新型コロナウイルス感染症や
異常気象などによる災害に対応できる
「災害時多言語支援センター」を運営し、
外国人住民のみなさんの
災害時の支援を行います。



外国人住民のみなさんとの架け橋となる
人材を発掘、確保、育成して、
地域の多文化共生社会を
担うみなさんを
増やしていきます。



定住生活の支援

主な取組

コミュニケーション支援

外国人住民のみなさんが日常生活的コミュニケーションに必要な、日本語学習や
地域の文化、習慣を理解するための支援

- 日本語教室の開設・運営の支援
- 日本語指導者の養成

子どもの教育支援

日本語の習得が必要な児童生徒への、将来を見据えた教育の支援

- 小・中学校の外国人児童生徒のための日本語教室の運営
- 小・中・高校の外国人児童生徒及びその保護者に対する支援の充実

安全・安心な暮らしの支援

やさしい日本語を活用した生活支援や、外国人住民のみなさんが、自立し、
安心して生活できるための支援や医療や介護、健康や子育てや災害時の支援

- やさしい日本語や多言語による市政情報の提供
- 多言語対応相談員による対応
- 企業、事業所等と連携した就労支援

地域社会活動への参画支援

外国人住民が様々な地域活動に参加するための支援

- 外国人住民のみなさん地域活動への参画促進
- 外国人住民のみなさんに対する防災意識の啓発や
防災訓練への外国人住民のみなさんの参加促進や災害時の支援体制づくり

国際理解・国際交流の推進

飯田を拠点とした様々な国際交流活動によって、国際理解を推進し、多文化共生の意識がつけられている地域を目指します。

外国人住民のみなさんが気軽に集まったり、外国人住民のみなさんとともに様々な活動を行い、国際交流や国際理解を進めていく場所を整備して運営します。



人権・多文化共生推進のための国際理解・国際交流の推進

人権に配慮し、地域の中に多文化共生意識が常であり、グローバルな視野を持てる人材が育つ地域社会の育成を目指します。

主な取組

- 外国人住民のみなさんと日本人住民の日常的な交流の推進や、多文化共生推進に必要な人材の確保
- 外国の文化を理解する機会を通じた多文化共生意識の醸成や子どもたちに対する多文化共生・国際理解教育の推進
- 観光やブランド発信を通じた国際交流の推進

飯田市外国語相談窓口

翻訳機を使って、いろいろな国の言葉での相談もできます。



電話

0265-22-4511

開いている日 平日(年末年始を除く)

場所 飯田市役所A棟 1F

中国語で相談ができる日と時間

月・火・木・金 13:00～17:00

ポルトガル語で相談ができる日と時間

火・木 13:00～17:00

英語・タガログ語で相談ができる日と時間

水・金 13:00～17:00

ベトナム語で相談ができる日と時間

木 9:00～12:00



外国人住民の子どもたちの教育支援には、自分も積極的に関わっていきたいと思います。また、日本語教室は外国人住民にとっても大事な場所なので、さらに充実してほしいです。



小さな世界都市として発展していくには、この地域に魅力を感じる外国人材を積極的に受け入れていくことが欠かせなくなると思います。



言葉の壁だけではなく、心の壁も取り払ってあげれば、多文化共生が進んでいくと思います。



気候変動により、災害が多くなってきているので、災害時に、外国人住民が安心して支援を受けられる取組を進めてほしいです。

第2次改定版の計画づくり市民会議に

委員として参加された外国人住民のみなさんから

飯田市役所 男女共同参画課 多文化共生係
〒395-8501 長野県飯田市大久保町2534
電話 .0265-22-4560(直通)
FAX.0265-22-4673
メール danjo@city.iida.nagano.jp
ホームページ <https://www.city.iida.lg.jp>



いいだFM(76.3MHz)

土・日曜日 18:00～18:30

いいだFMからのお知らせを
外国語で放送中!